マンスリーレポート　No.12

2016 年 3 月 31 日

久留米大学医学部医学教育研究センター
http://csme.asuscomm.com/wp/
神代龍吉、安達洋祐、柏木孝仁、北川周子

１．第 110 回　医師国家試験関連

卒業生の国試自己採点結果を収集しているので、数が揃ってから国試不振の原因追究、総合試験再試の効果、卒業判定の妥当性、本学学生の弱点等について解析を始める。3 月 24 日発行の教務ニュースに「学生に自己学習への内的動機付けが必要」と題する文章を神代が執筆した。定期試験対策が勉強のすべてにならないよう、低学年から医師という職業の社会的意義・責任とプロフェッショナリズムを意識させ、高い目標に向かうための能動的学修に学生を導く対策を考えて行くべきである。

２．年報の発行（3 月 31 日）

年報においてセンター開設時に実施計画案の達成度を振り返った。ほぼ達成できたこととして FD、シラバス検証、工夫された授業の紹介、OSCE 動画のアップ、模擬患者養成、教務委員会への各種提言（マンスリーレター）、ニュースレター発行など、未実施のものとしてシミュレーション教育、CBT 対策、卒業後の活躍度調査、SD、語学学習推進など。年報は冊子体のほか HP にもアップする予定。

３．SP（模擬患者）リクルート用パンフレット発行（3 月 31 日）

すでに SP としてご協力いただいている方が、新たな SP を勧誘する際に利用していただくための 6 ページのパンフレットを作成した。HP にアップする予定。

４．SP 養成 10 周年記念誌の発行（3 月 31 日）

SP の皆様、看護学科の森本先生、加悦先生、放射線科の安倍教授、朝倉医師会病院院長の上野隆登先生、消化器内科の有永照子先生、それにこれまで関わってこられた皆様からの原稿をいただいて発行した。冊子体とし予定。

５．FD

3 月 1 日（火）、8 日（火）に「電子シラバスを作ってみよう」開催した。3 月 25 日（金）には九州大学の吉田素文教授による「著作権について」の講演会を開催した（42 人参加）。3 月 31 日（木）には小児科と共同で、カリフォルニア大学デービス校の George W. Meyer 教授の医学教育特別講演「On the places you will go」と題する講演会行った。

６．ニュースレターの発行

国試受験を終えた学生さんからの原稿を中心に、4 月 1 日（金）に発行予定。

７．5 年生合宿への参加

安達が 3 月 19 日、柏木が 3 月 20 日～21 日に玄海ロイヤルホテルでの合宿に参加。

８．学外活動

・神代：国立大学モデルコアコンピテンス会議（ルーブリック評価を提案、3 月 3 日）

９．医学教育ワークショップ（9 月 1 日～２日）

詳細な計画を招待講演者も含めて計画中。近く発表予定。

１０．　医学教育学会への演題登録

・佐柳和博（4 年生）:「席次と学生生活」（学生セッション）

・柏木孝仁:「共用試験 CBT の成績から学生個人の医師国家試験の合否を予測できるか？」

・神代龍吉 :「共用試験 OSCE10 年を考える～昨日・今日・明日～」（シンポ共同研究）

・守屋普久子 :「医学科 5 年生の学生を対象とした男女共同参画に関するグループ講義の試み」

以上